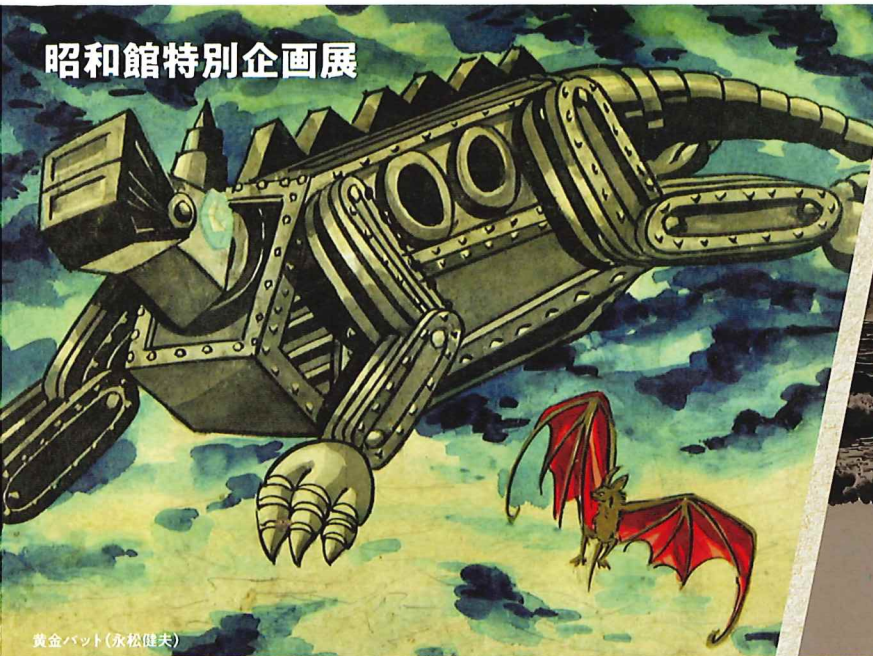
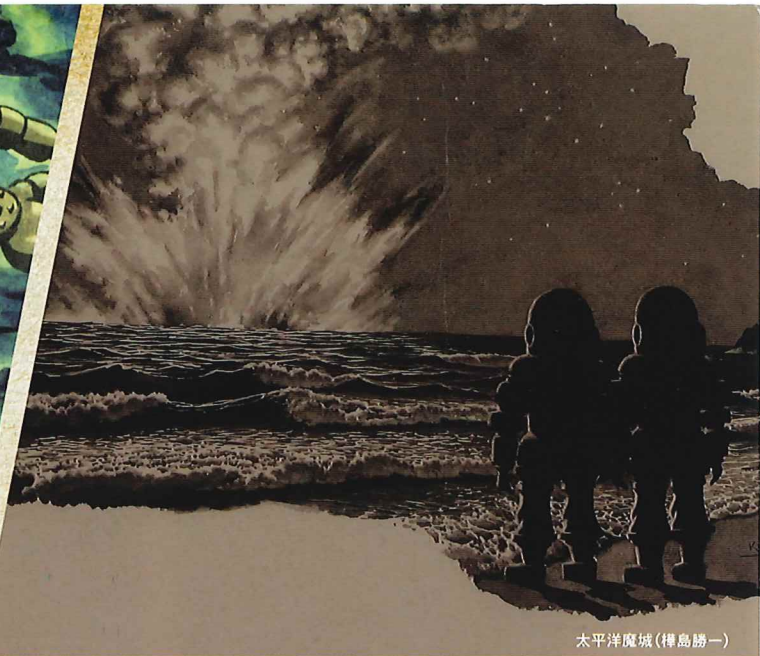


昭和館特別企画展



黄金バット(永松健夫)



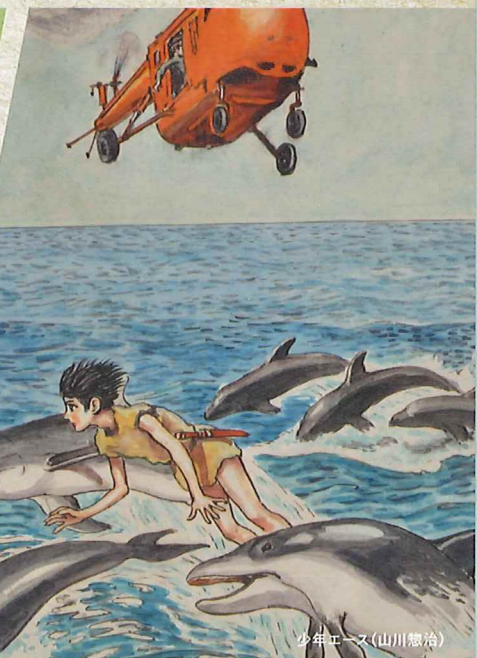
太平洋魔城(榎島勝一)

SF・冒険・レトロフューチャー

～ぼくたちの夢とあこがれ～



大暗黒星(小松崎茂)



少年エース(山川惣治)

2020年

3/14(土) ▶ 5/10(日)

会場 昭和館3階 特別企画展会場

開館時間 10:00▶17:30(入館は17:00まで)

休館日 月曜日(5月4日は開館、5月7日は休館)

特別協力：株式会社講談社

後援：千代田区、千代田区教育委員会

入場無料



URL <https://www.showakan.go.jp>

<https://twitter.com/showakankudan>

<https://www.facebook.com/showakankudan/>

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575





国防科学雑誌「機械化」第6巻 第7号
昭和18年(1943)
表紙 小松崎茂「架橋戦車」



「少年倶楽部」第32巻 第3号
昭和20年(1945)
表紙 樺島勝一「撃墜」



「冒険活劇文庫」創刊号
昭和23年(1948)
表紙 永松健夫「黄金バット(アラブの宝冠)」

ごあいさつ

いつの時代においても、子どもたちは読物から想像力を刺激され、さまざまな事象にあこがれを抱きました。それは戦時中であろうと、荒廃した終戦直後であろうと、変わることはない子どもたちの憧憬だったといえます。少年雑誌に描かれる空想科学(SF)や冒険、未来予想図の挿絵や口絵は、子どもたちの夢を掻き立てました。

本企画展では、戦中から戦後にかけて『少年倶楽部』誌上で活躍した「ペン画の神様」樺島勝一、異色のヒーロー「黄金バット」を生み出した永松健夫、絵物語ブームを牽引した山川惣治、同じく絵物語で子どもたちを魅了し、昭和30年代にはSFや戦記物作品で一世を風靡した小松崎茂など、挿絵画家たちの画業を紹介するとともに、貴重な原画を展示します。

昭和の子どもたちが抱いた夢とあこがれは、大人になった現代においても懐かしい未来(=レトロフューチャー)として心の中に秘められているのではないのでしょうか。本企画展を通じて、多くの方々に少年文化の魅力を感じていただくと幸いです。

イベント情報

① 活動弁士による無声映画上映会 活動弁士：ハルキ

期日 3月29日(日)
場所 1階ニュースシアター
定員 各回60名

1回目 演目 『月世界旅行』『一寸法師・ちび動物語』『のらくろ伍長』
13:00～13:45

2回目 演目 『月世界旅行』『モンブランの嵐』
15:00～15:45

② 春休み遊びイベント

期日 4月4日(土)・5日(日) 11:00～15:00
場所 昭和館2階 ひろば
内容 型抜き、オリジナル缶バッジをつくろう
巨大すごろくあそび、ぬりえコーナー

③ 展示解説 担当者による展示解説を行います。

期日 4月12日(日)・4月26日(日)
14:00～(所要時間 約45分)
場所 昭和館3階 特別企画展会場

展示構成

- I 空想科学(SF)の黎明
- II 紙芝居・絵物語の世界
- III 少年たちの未来予想図



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1



- 7・6階には常設展示室(高校生以上有料)があります。
- 団体予約承ります。

電車ご利用の場合
地下鉄 九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線出口4)
JR 飯田橋駅から徒歩約10分

車をご利用の場合
首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
有料駐車場有(30分200円・普通乗用車のみ)

